



# News Letter

国際農業機械化研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2の7-22 新農林社内 電話 03-3291-5718・3674

INTERNATIONAL FARM MECHANIZATION RESEARCH SERVICE

c/o SHINNORIN-SHA 2-7 KANDA NISHIKI-CHO CHIYODA-KU, TOKYO, ZIP 101-0054 JAPAN., TEL. 03-3291-5718・3674

News Letter 通巻 446号

2012. 1. 10

毎月1回 20日発行

発行責任者

岸田 義典

## 目次

- 国際農業機械化研究会報告会より.....2  
アグリテクニカ 2011 (AGRI TECHNICA)  
株式会社新農林社 代表取締役社長 岸田義典
- 国別輸出入 (2011年1-10月).....11
- 国際イベントニュース.....25

'2011

12



国際農業機械化研究会  
岸田義典理事長  
(株)新農林社社長

国際農業機械化研究会は(株)新農林社と共催で、第 447 回海外農機事情報告会を、平成 23 年 12 月 19 日 (月) に開催した。講師は国際農業機械化研究会 岸田義典理事長 (株)新農林社社長。講師は 11 月 13 ~ 19 日まで「アグリテクニカ (AGRI TECHNICA) 2011」を視察して帰国し、展示会の様子を映像とともに報告した。

要旨は以下の通りである。

2011 年 11 月 13 ~ 19 日、ドイツのハノーバー市でフランクフルト DLG ドイツ農業協会主催の農業機械の展示会「アグリテクニカ 2011」が開催された。2 年前から EIMA とアグリテクニカが隔年で開催されており、今年は通常 EIMA に出展する部品メーカーなども出展し、非常に規模の大きい展示会となった。

出展社数は 2,698 社で、その他会社を代表する販売店等を含め、展示社数は 48 カ国から 2,748 社と 2009 年と比べると約 17% 増加した。海外の参加内訳は、イタリー 322 社、オランダ 112 社、フランス 92 社、中国 82 社、オーストリア 76 社、トルコ 72 社、デンマーク 59 社、アメリカ合衆国 54 社、カナダ 49 社、イギリス 44 社、ポーランド 41 社、スペイン 39 社、インド 36 社、フィンランド 34 社。特に、展示社数が増えているのは中国で、部品の展示会場の約 3 分の 1 を同国が占めていた。トルコやインドのほか、ポーランドやハンガリー、チェコなどの新興諸国も増えていた。

展示面積は 38 万 8,542m<sup>2</sup> で、前回よりこちらも約 17% 増えた。参加者数は 415,000 人で、その内、海外から約 100,000 人が参加した。

DLG の CEO であるラインハルト・グラントケ博士は、「欧州農業の今後における動向は非常にポジティブで、悲観はしていない。今後需要は増えるだろう」と語っていた。

2011 年のドイツのトラクターの販売台数が 3 万

5,000 台と過去最高を記録し、農業機械の受注金額は約 70 億ユーロとなった。ちなみに EU 全体では、2010 年が 200.7 億ユーロ、2011 年が 241.0 億ユーロだった。農産物価格が非常に伸びていて、投資を増やす農家も多い状況だ。

#### 「大型化」と「ゴムクローラー化」

21 世紀の農業状況を見ると、人口増加はもちろん、特に米国がとうもろこし等のアルコール化を進めているので、農業原料の需要が増大し、国際的に穀物が足りなくなっている。

そういう中で今回の展示会を見ると、前回同様「大型化」や「高速化」された機械が非常に増えている。例えば、クローネのフォレージハーベスターに搭載されたマンの V12 気筒ディーゼルエンジンは約 1,100 馬力だ。また、クローラー (ゴム) 型の機種展示が非常に増えたことも大きな特徴の一つだ。ゴムクローラーは水田が多い日本で利用が進んだが、欧州も機械が大型化し、降雨後の畑でも走行性が良いようにゴムクローラー化するなどの必要が生じた。また、土壌の「ソイルコンパクション」を防止するために、大型機械の接地圧を下げるのに一番良いのはゴムクローラーである。フルクローラーではなくセミクローラー (前輪または後輪だけをゴムクローラーにする) がコンバインハーベスターやポテト、ビート等の大きな自走式ハーベスター用に数多く